

みずのわ

学校だより
【第4号】

令和3年6月29日(火)
石巻市立石巻小学校

【見えないものを観る】

サン・テグジュペリの名著「星の王子さま」の中で、主人公の王子様は、数々の珠玉な言葉を発しています。その中の一つに「心で見なければ、ものごとはよく見えない。大切なことは、目に見えない。」というのがあり、これはまさに、私から言わせると、教員に必要なスキルであると思っています。いや、教員に留まらず、現代社会に生きる多忙な保護者の皆様にとっても、疎かにしてはいけないスキルです。つまり、私たち大人は、子供の言葉からだけではなく、表情やしぐさ、声のトーンなどから、その子の心の内を察し、それに応じた声掛けをしていかなければならないと思うのです。

私は、心の目で観るよう努力を重ねてはいるものの、子供の本当の心の内に気付かず、見逃してしまうことが多々あるように思います。でも、今回、心の目を開いたら観ることができた出来事を二つ紹介します。

(ボタンを押さない子)

校門前の押しボタン信号。その子は、ボタンを押しません。私は「ボタン押すの忘れていますよ。」と声を掛けました。すると、その子は、苦笑いのような不思議な反応を見せ、来た道を振り返ってからボタンを押しました。あきらかに「あっ、忘れていた」という反応ではありません。私は、少し違和感をもちました。

歩行者信号が青になりました。すると、その子の後ろを歩いていた女の子が慌てて走り出しました。でも、信号は無情にも点滅開始、女の子は渡れませんでした。

「そうかあ、分かった。女の子が渡れるように、さりげなくボタンを押すタイミングを計っていたんだ。」

俗に、着ている服や容姿などを見て「カッコいい」と言いますが、私からすると、「カッコいいとは、この子の行いのようなことを言うんだぞー。」と叫びたくなりました。その後、心の目で観ていたら、“ボタンを押さない子”が何人かいることが分かりました。まだまだ修行が足りません。

(急に席を立つ子)

代表委員会に途中から顔を出しました。後ろの席に先生方がびっしりと座っています。空いている席は小学生3人が並んで座っている隣の席一つだけ。迷わずそこに座りました。そして、代表委員の話合いを集中して聞いていたら、隣の子たちが席を立てて何やらゴソゴソし始め、しまいには私の隣に席をもう一つ作り、3人とも席を一つずつ移動しました。「私の隣では緊張するのかなあ。」などと考えていたら、違いました。私の知らないうちに、他の先生がもう一人やって来て立ち見をしていたのです。その先生のために、椅子を出して座れるように用意したのです。



手のひらを太陽にかざして 鶴岡夢真作

昨年も言いましたが、今年も言わせていただきます。

石小っ子、万歳。

(校長／川田知宏)